

Liqlid 鎌倉市導入事例 ①

- ・ホーム画面から現在募集中のテーマ一覧が確認できる
- ・アカウントを保持していない市民からも閲覧が可能



Liqlid 鎌倉市導入事例 ②

- ・テーマを選択すると、アイデアを投稿する画面となる。投稿されたアイデアは一覧で確認することができる。
- ・アイデアの投稿にはアカウントが必要であるが、匿名やニックネームでの投稿が可能。



Liqid 鎌倉市導入事例 ③

- ・ダッシュボードでは、投稿されたアイデアを自動で集計し、可視化することができる。



Liqidで出来る事

1 アイデアを出す

組織・コミュニティの一人ひとりが、その組織の中でやりたいこと、今関心があること、問題意識を抱えていることなど「アイデア」を短文で自由に投稿します。これらアイデアが、プロジェクトの素になります。

機能

- > 色別で投稿
- > 匿名投稿
- > アイデアの並べ替え機能

4 案を修正

現在の案の内容をより良くできる部分がないか考え、案の修正を提案するリクエストを行うことができます。この修正提案に対して、メンバーは「いいね」を付けることができるため、どの提案が必要とされているのか、見やすくなります。

機能

- > リッチテキスト対応
- > 修正提案の採用機能
- > 過去の案と比較

2 プロジェクト作成

案を書くことで、プロジェクトがスタートします。任意のメンバーが、プロジェクトのタイトルや目的に合う案を書くことができます。案を書く際には、わかりやすクリツキリストで軌量・画像が可能なほか、画像・動画の貼り付けなどにも対応しています（予定）。

機能

- > リッチテキスト対応
- > プロジェクトの並べ替え機能
- > プロジェクト進行フェーズを可視化

5 投票する

プロジェクトの最後には、投票を行います。公開/秘密投票を選ぶことができたり、専門的な知識がない場合などに、他者に自分の票を委任したりする高度な投票機能を設定しています。投票を経ることで、その組織・コミュニティの中の1人1人の意見を可視化することに繋がります。

機能

- > 委任投票機能
- > 自由選択肢機能
- > クアドラティック投票機能

3 議論する

案を書いたメンバーは「いいね」などを参考に、修正提案の中から必要だと考えたものを案に反映させて、案をアップデートしていくことができます。自由に意見を言いつつも、しっかりと議論をまとめていくために大切なプロセスです。

機能

- > 修正提案機能
- > チャット機能
- > いいね機能

6 結果を確認する

最終的に示された案に対して、組織・コミュニティのメンバーがどのように考えていたのか、一覧で確認することができます。結果によっては、継続してプロジェクトを実施して、更に案をよくなっていくこともできます。結果は、画面上で確認できるほか、データとして出力可能です。

機能

- > 結果をわかりやすく可視化
- > 豊富な結果の出力形式
- > 再議論機能